



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 アサヒホールディングス株式会社
コード番号 5857 URL <http://www.asahiholdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 寺山 満春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 東浦 知哉

TEL 03-6270-1833

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	49,324	△32.2	2,896	△51.5	2,955	△51.0	1,555	△55.4
24年3月期第2四半期	72,748	38.6	5,974	6.7	6,034	10.2	3,488	9.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,328百万円 (△73.8%) 24年3月期第2四半期 5,059百万円 (66.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	47.97	—
24年3月期第2四半期	107.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	56,852	39,345	69.1
24年3月期	58,315	38,902	66.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 39,267百万円 24年3月期 38,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△36.5	5,100	△54.5	5,100	△54.2	2,800	△52.8	86.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	36,254,344 株	24年3月期	36,254,344 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	3,806,039 株	24年3月期	3,858,589 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	32,422,126 株	24年3月期2Q	32,325,519 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、長期化する円高や世界景気の減速等を背景として、厳しい状況が続きました。

このような経済状況の下、貴金属リサイクル事業領域においては、金・銀・プラチナ・パラジウム等の回収量が前年同期実績を下回りました。また、金の平均販売単価は前年同期実績を上回りましたが、銀・プラチナ・パラジウムの平均販売単価は前年同期実績を下回りました。なお、一部の取引においては、受託加工取引への切替えにより、前期よりも売上高が減少しております。

環境保全事業領域においては、廃油、汚泥、医療系廃棄物の取扱量が前年同期実績を上回りました。また、平成24年7月に完全子会社化した株式会社インターセントラルの業績は堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49,324百万円（前年同四半期比23,423百万円減、32.2%減）、営業利益は2,896百万円（前年同四半期比3,078百万円減、51.5%減）、経常利益は2,955百万円（前年同四半期比3,078百万円減、51.0%減）、四半期純利益は1,555百万円（前年同四半期比1,933百万円減、55.4%減）となりました。

セグメント別の売上高は、貴金属リサイクル事業が41,880百万円（前年同四半期比24,105百万円減、36.5%減）、環境保全事業が7,444百万円（前年同四半期比682百万円増、10.1%増）であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は56,852百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,463百万円減少いたしました。これは主に、たな卸資産が2,827百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は17,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,905百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が2,305百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は39,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,555百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は69.1%（前連結会計年度末は66.6%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,621百万円に減価償却費1,022百万円を加え、たな卸資産の減少額3,221百万円、売上債権の増加額1,578百万円、法人税等の支払額4,251百万円等を加減した結果1,007百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の取得による支出1,081百万円、有形固定資産の取得による支出387百万円等により、1,551百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の純増加額1,252百万円、配当金の支払額971百万円等により、235百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して258百万円減少し、3,269百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年7月30日発表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,527	3,269
受取手形及び売掛金	9,480	11,329
商品及び製品	2,123	1,917
仕掛品	10,727	7,887
原材料及び貯蔵品	618	836
その他	2,833	1,841
貸倒引当金	11	9
流動資産合計	29,301	27,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,495	9,429
土地	12,910	12,999
その他(純額)	3,356	3,001
有形固定資産合計	25,763	25,431
無形固定資産		
のれん	1,970	2,573
その他	519	751
無形固定資産合計	2,490	3,325
投資その他の資産	760	1,022
固定資産合計	29,014	29,779
資産合計	58,315	56,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,253	2,635
短期借入金	4,545	6,495
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,011
未払法人税等	3,267	962
賞与引当金	659	622
役員賞与引当金	30	6
修繕引当金	100	41
製品保証引当金	-	32
その他	3,275	2,931
流動負債合計	16,130	14,737
固定負債		
長期借入金	1,500	1,000
退職給付引当金	65	99
役員退職慰労引当金	-	19
その他	1,716	1,650
固定負債合計	3,282	2,769
負債合計	19,413	17,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,480	4,480
資本剰余金	6,087	6,086
利益剰余金	34,124	34,708
自己株式	5,656	5,579
株主資本合計	39,036	39,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	13
繰延ヘッジ損益	111	356
為替換算調整勘定	108	85
その他の包括利益累計額合計	201	428
新株予約権	67	77
純資産合計	38,902	39,345
負債純資産合計	58,315	56,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	72,748	49,324
売上原価	64,356	43,818
売上総利益	8,392	5,506
販売費及び一般管理費	2,417	2,610
営業利益	5,974	2,896
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	1	1
為替差益	53	39
その他	21	34
営業外収益合計	85	84
営業外費用		
支払利息	20	12
その他	5	12
営業外費用合計	26	24
経常利益	6,034	2,955
特別利益		
固定資産売却益	0	4
退職給付制度終了益	159	-
特別利益合計	159	4
特別損失		
固定資産除却損	39	17
固定資産売却損	0	62
減損損失	-	231
投資有価証券評価損	38	27
特別損失合計	78	338
税金等調整前四半期純利益	6,115	2,621
法人税、住民税及び事業税	2,484	799
法人税等調整額	142	266
法人税等合計	2,626	1,066
少数株主損益調整前四半期純利益	3,488	1,555
四半期純利益	3,488	1,555

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,488	1,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	5
繰延ヘッジ損益	1,574	244
為替換算調整勘定	13	21
持分法適用会社に対する持分相当額	5	1
その他の包括利益合計	1,570	227
四半期包括利益	5,059	1,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,059	1,328
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,115	2,621
減価償却費	1,129	1,022
減損損失	-	231
のれん償却額	148	174
退職給付引当金の増減額(は減少)	157	5
受取利息及び受取配当金	10	10
支払利息	20	12
固定資産除売却損益(は益)	39	75
投資有価証券評価損益(は益)	38	27
売上債権の増減額(は増加)	2,331	1,578
たな卸資産の増減額(は増加)	4,606	3,221
仕入債務の増減額(は減少)	673	937
未払金の増減額(は減少)	400	280
その他	1,405	454
小計	747	4,130
利息及び配当金の受取額	8	10
利息の支払額	21	13
法人税等の支払額	2,493	4,251
法人税等の還付額	776	1,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,475	1,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	23	-
差入保証金の回収による収入	13	10
有形固定資産の取得による支出	671	387
有形固定資産の売却による収入	0	120
無形固定資産の取得による支出	100	119
関係会社株式の取得による支出	471	1,081
その他	167	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,374	1,551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	5,853	1,777
長期借入金の返済による支出	576	524
ファイナンス・リース債務の返済による支出	24	30
自己株式の取得による支出	0	0
自己株式の売却による収入	78	75
配当金の支払額	807	971
その他	-	90
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,522	235
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	49
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	698	258
現金及び現金同等物の期首残高	2,250	3,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,948	3,269

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	貴 金 属 リサイクル事業	環 境 保 全 事 業	合 計
売上高			
外部顧客への売上高	65,985	6,762	72,748
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	65,985	6,762	72,748
セグメント利益	5,221	753	5,974

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	貴 金 属 リサイクル事業	環 境 保 全 事 業	合 計
売上高			
外部顧客への売上高	41,880	7,444	49,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	41,880	7,444	49,324
セグメント利益	2,013	882	2,896

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「環境保全」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に株式会社インターセントラルの株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、777百万円であります。